

平成 27 年度 庄原市児童生徒科学研究の進め方についての研修会

- 日 時：平成 27 年 5 月 29 日（金）14：00～16：35
- 場 所：庄原市総合体育館 2階 会議室
- 参加者：庄原市内各小・中学校の教職員 25 名
- 目 的：科学的な態度や能力を育て、問題解決の方法を習得させる科学研究の進め方について研修し、庄原市内各小・中学校の科学研究を推進する。

【実践発表】「理科の授業づくり及び科学研究の進め方について」
平成 26・27 年度市町の挑戦支援加配校 庄原市立高野中学校 教諭 渡邊 清文

【概要】

- 研究テーマの設定が最も重要である。
 - ・児童生徒が主体的にテーマを決められるように、日頃から疑問をもたせたり、過去の研究や理科の授業を発展的に取り上げたりする。
 - ・児童生徒が研究のプロセスについて理解できるように、事例を活用した演習を行う。
- 科学研究を意識した理科の授業実践事例を通して、課題意識をもたせる仕掛けをすること、工夫して実験する経験をさせることを確認した。



【参加者の声】

- 一人一人の児童に興味・関心をもたせ、テーマを決めるに当たっては、児童が自分で決めたという納得のもとに進めたい。
- 児童が決めたテーマにより研究を進められるか、見通しをもたせて研究させたい。
- 課題解決のための調査や実験方法の指導について、大変参考になった。

【演習】「科学研究における指導のポイントについて」

庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 佐々木 孝
庄原市立高野中学校 教 諭 渡邊 清文

【概要】

- 広島県立教育センターHPに掲載されている、「県科学賞の入賞作品概要」を活用し、科学研究作品を評価する5つの視点（自主性、信頼性、論理性、安全と自然への配慮）に基づき分析した。

【参加者の声】

- 事例から、科学研究の進め方や研究のプロセスについて、具体的なイメージをもつことができた。
- 科学研究の作品を見る視点が分かった。校内でも作品分析を行いたい。